

能  
山  
姥

第三回

龍門之會

金剛龍謹能の会

平成26年 2月9日(日) 午後1時30分始

於 金剛能楽堂

〒602-0912

京都市上京区烏丸通中立売上ル

☎ 075-441-7222 FAX 075-451-1008

❖ 会員券 5,000円    ❖ 一般券 5,500円    ❖ 学生券 3,000円

● 龍門之会の会員に入会していただきますと、年一回の会のご案内及び観能会のご案内を優先的にさせていただきます。

第三回 龍門之会

狂言

仏師

茂山良暢

山口耕道

後見 新助健人

仕舞

八島  
東北  
善知鳥

廣田幸徳  
宇高通成  
種田道一

地謡

山田夏樹  
豊嶋見剛  
廣田泰能  
宇高徳成

休憩

仕舞

玉之段

金剛永澄

地謡

徳明貞助  
種田道一  
宇高通成  
今井克紀

宇高竜成  
金剛龍謹

山姥

焼

間 茂山良暢

江崎敬三

白坂保行  
曾和尚晴

前川光範  
杉 信太郎

後見 廣田幸徳  
金剛永澄  
宇高幸洋

地謡

重木昌也  
豊嶋見剛  
今井克紀  
宇高通成  
宇高徳成  
種田道一

附記

主催 龍門之会  
公益財団法人 金剛能楽堂財団  
後援

山姥

あらすじ

都に、山姥の由舞で有名となり、百鬼山姥と呼ばれている遊女が居た。遊女は善光寺参詣を思い立ち、従者とともに旅に出る。途中、越中越後の国境の境川に着き、従者が所々の者に道を尋ねると、三つ道のうち、上流の山を越えるのが一番険しい道だが、如來の道であるという傳いわれを救えられる。遊女の行が険阻な上流路をしばらく進むと、にわか山に迫り、自分だけの庵へ案内する。山中では宿もなく嘆いているところに、入の黒女が現れ、自分だけの庵に同客案内した女は良の山姥であることを明かし、自分を思っていた山姥の曲調を謡うように求める。遊女が驚き怖れて話おきすると、女はそれを押し止め、今宵の月が出る夜半に話おきしなさい。真の姿を現して舞おうと告げて消え失せる。やがて夜になり遊女が話おき始めると山姥が愛おしく見えて現れて山姥を舞い、境川を物語り真の山廻りの有様を見せ、名刺を惜しみ、山また山を駆け送って何処ともなく去っていく。山岳信仰と深遠な仏教育の思想を組み込み、殊に山廻りの一節にも山岳神性と四季の風光を貫いて遊女ともいうべき健康な趣をもった傑作である。



金剛龍謹  
公益財団法人金剛能楽堂財団 評議員

略歴

昭和六十二年、二十六世宗家金剛永澄の長男として京都に生まれる。幼少より、父・金剛永澄、叔父金剛龍に師事。五歳で仕舞「舞」にて初舞台、十歳で狂言「若柳」初シテ登場。平成十二年三月、同志社大学文学部卒業。平成二十二年四月、金剛能楽堂インストラクターを公認に参拜。

主な関与

「石鏡」(舞)、「新」(狂)、「道成寺」(習)など。

第三回 金剛龍謹の会 龍門之会 FAXお申し込み書

FAX番号 075-451-1008

お名前

お電話・FAX

ご住所 〒

□会員券(1口5,000円) \_\_\_\_\_ 枚 □一般券(5,500円) \_\_\_\_\_ 枚 □学生券(3,000円) \_\_\_\_\_ 枚

(お申込み後、観能券を郵送させていただきます。お問い合わせは金剛能楽堂まで)

金剛能楽堂

〒602-0912  
京都市上京区烏丸通中立売上ル  
☎075-441-7222



ホームページ  
<http://www.kongou-net.com/ryu-mon.html>